

## IGF2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 48 回会合 発言録

加藤： 予定の時間になりましたので、そろそろ第 48 回の活発化チーム会合を始めさせていただきますと思います。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。山崎さん、下のほうにスクロールしていただいて。お願いできますか？まず本日の予定ですけれども、最初に西潟さまいらっしゃいますが、日本政府から何かご報告とかご連絡いただくことはございますでしょうか？

望月： 望月です。ご報告できるようなことはないです。

加藤： 分かりました。ありがとうございます。私の声ちゃんと聞こえていますよね？

望月： 聞こえておりますし、大丈夫です。

加藤： ありがとうございます。実は、MAG のほうの進展があって、河内さんからご報告いただくこうと思っていたんですが、まだ入ってないようなので。もしよろしければ山崎さん、NRI のほうのお話を先に。大きな進展というより、お願いしてもよろしいですか？きょうの夜、実は NRI があるので。それでまだ少し動くかとは思いますが。河内さん入られる前に、もしよろしければお願いしたいんですが、いかがでしょうか？

山崎： では山崎から報告します。加藤さんがおっしゃったように、今晚今月の会合があるんで、前回からそれほど進捗はないんですけれども簡単にご報告します。今晚の会議のアジェンダが既に来ておりますので、それで説明するのが分かりやすいかなと思うんですけれども、要は今年の IGF 2024 で開催される NRI 関係のセッションの内容を議論するというのが、主なアジェンダになります。これが前回お伝えしたと思いますけれども、NRI コラボラティブセッション、NRI 協同セッションについて、この 3 つのトピックに分かれてそれぞれプログラムを作ることになっていまして、確か 3 月いっぱい NRI コーディネーターで、この 1 から 3 までのどれのメーリングリストに入るかっていうのを募集していました。われわれそれには間に合わなかったんですけど、先週、3 人いますんで 3 人が分担してそれぞれのグループに入るということで事務局側に連絡をしております。まだ返事は頂いてないんですけども、入れるんじゃないかと思います。1 番、DNS のインクルージョンっていうのに私が入りまして、2 番のディスインフォメーション（偽情報）、こちらが河内さん。3 番の新興技術が加藤さんという分担にすることになりました。これが前回の 3 月に開催された NRI コーディネーターの会議の結果ですけれども、GDC、グローバルデジタルコンパクト及び、世界医療サミットの 20 周年レビュー。これに光を当てた、マルチステークホルダーの進化に関する NRI の役割ということと、グローバルデジタルコンパクトのフォローアップのメカニズムに関する NRI の役割。IGF と政府間のエンゲージメント状況を、NRI を通じてという、そういったことを目指すということになっています。これは、メインセッションのほうです。最後のところに書いてありますけれども、

サイバーセキュリティの国際的な協力ということを考えているというふうになっているという感じですか。これらについて今晚の会議では、掘り下げて議論するということになると思います。通常、NRI のコーディネーターの会議では、みなさん積極的に手を挙げて、ばんばん意見を言っていくという感じですか。参加者の中ではアフリカから参加する方の比率が比較的高いかなというところですか。そんなところでしょうか。加藤さん、もし補足あればお願いします。

加藤：ご記憶だと思いますけれども、昨年も NRI ということで正式なセッションを3つプラス1つ。メインセッションというのと、さっき3ページ目を出していただいた3つのトピックについて、コーディネートセッションをやりますっていうのが、今年ももうフォーマットは決まっています。したがって、日本からも NRI の中でこういうこと言ってほしいということがあれば、今からその内容についても準備しますし、エキスパートもいろいろと提案出来ますので、是非そういうコメントお願いしたいと思います。いろいろミーティングが重なりますので、3人の、今 NRI のリエゾンで3つを分担してやりましょうっていうことでスタートしてるということです。もしご質問等あればお願いしたいと思います。ございませんか？

NRI に関しては。お話の中で、もしあればまた追加でご質問いただくとして、先ほどから飯田さまと河内さん入ってこられたんですが、もし飯田さま何かあればコメントいただくこと出来ますでしょうか？

MAG についてももちろん結構ですけど、MAG については改めて河内さんからもコメントあるかもしれません、いかがでしょうか？

飯田：申し訳ないんですが私のほうからは大したことはなくて、まさにセッションの締切が延びたので、われわれも実は慌てて今仕上げようとしてるところなんですけども、みなさんいろいろご検討いただいているということで、大変有難く思います。MAG はもう河内さんにお任せしたいと思いますが、IGF そのものではなくて、NETmundial(+10)もだいぶ差し迫ってきていて、ドラフティングとかが進んではいるんですけども、これも私あんまり十分フォロー出来てないので、もしあとで前村さんからお話があれば、むしろお聞きしたいと思ってるということです。今年、ブラジルが G20 の議長国でもあるので、せっかくだったらインターネットガバナンス、あるいは NETmundial(+10)の議論とかを G20 の場でちゃんと共有して、G20 は難しいので必ずしもライク・マインデッド・カントリーズじゃないところがいっぱいいるわけなんですけども、そういう中でも少しでもわれわれの共有してる価値とか理念を少しでも広く理解を得て、「インターネットが少しでも良くなっていくようにという議論を G20 でもやろうよ」って言うているんですけど、なかなかポリティカルのところになっちゃうので、ブラジルも様子を見ながら、NETmundial(+10)の話を今進めているという感じかと思います。ということで、きょうはあんまりお話しできることがなくて申し訳ないんですが、また残りのところでみなさんからお聞きできればと思ってます。以上です。

加藤： 飯田さまありがとうございます。もしそれ以外にもご質問あれば、いかがですか？飯田さまに。それか先ほどの山崎さんへのご質問とかございませんか？もしなければ、先ほど参加されたんで河内さん、MAGのご報告お願いしたいんですが、声は大丈夫でしょうか？

河内： 声がまだかなり、だいぶ良くなったんですけど喋れてまして、お聞き苦しくて申し訳ないんですけども、MAGの会合、先週の16日火曜日の夜に行われたのでその報告をさせていただければと思います。画面共有を。見えていますか？

加藤： 見えます。

河内： 16日、先週の火曜日の8時から行われました。最初の部分は飛ばしまして、ロジ的などころです。それは再来月、6月の末26日から28日に第2回目の対面の会議がジュネーブで行われることになってまして、登録ももう出来るようになってますし、旅費のサポートを希望する人は早く言ってくださいみたいな連絡がありました。それから来月の末にあるWSIS (Forum)の会合にIGFとしてブースを出すのと、セッションも行う予定だと言っていました。火曜日って言ってたかな。日にち忘れましたが、それはリモートでももちろん参加出来るので、是非参加してくださいってような連絡がありました。その次です。セッションワークショップの提案募集ですけども、今行われてまして、一応今月末4月30日までが締切になっています。一応30日に締め切った時のスケジュールとして、まず事務局がスクリーニングを10日までにする。そのあと、それぞれのMAGメンバーによる評価が6月9日までになっていますけども、去年と同じように、やはりテーマごとにMAGの40人のグループを、おそらく10人ずつ4つとかに分けて、去年はサブテーマが8つあったので、1グループあたり2つずつテーマを割り当てられたんですけど、今年は4つなので1つずつになるのか、それとも2つずつ重複してやるのか、そのへんはまだ詳細は言ってなかったですけども、各自が6月9日までに評価したあとに、グループで6月14日から23日の間にそれぞれ会合を持って、どのセッションはどうだとかって議論をしたあとで、23日までにグループ内で相談して評価を決定する。最終的な評価は、ジュネーブでの対面会合の26日から28日の間に行われるのは、去年も一昨年もそのようにやられていたんで、そういうふうになると思います。今年はまだいくつ提案があっていくつ採択出来るのかって言う、この発表はまだないので分からないですが、そのへんは分かり次第またみなさんに共有出来ればと思います。これはどこかに共有されてるのかもしれないですけど、一応評価ポイントです。たぶん去年とそんなに変わってないんじゃないかと思うんですけど、トピックの内容20パーセント、ワークショップの内容が30パーセント、ポリシーアクションが15パーセント、エンゲージメント・アンド・ハイブリットストラテジーが15パーセント、ダイバーシティが20パーセントという割合になっています。

あとでこれチャットに貼りますので、これ共有しても問題ないものばかりだと思うので、ワークショップインプレッションフォームは毎年ほとんど同じようなかたちなのを写していたので

変わらないと思うんですけど、MAG が評価する際にチェックしたりとかして、オンラインでやるんですけど、今年初めての人もいるので説明がありました。あとはAIのポリシーネットワークです。去年から作ってたペーパーを、UNのHigh Level Advisory Bodyに3月に提出したということで報告がありました。Edit 状態のドキュメントですけど、ここにリンクを書いています。今年からユースイニシアティブに関するワーキングが設置されて、先週の金曜日にウェビナーを開催したようです。すみません、私出てないんですけど。夜中だったので。ストラテジーのワーキンググループは、これも先週の木曜日にありまして、やはり1番メインの話題はゼロドラフトについてで、これもコメントをみんなで共同作業でいろいろ書いています。もしご関心あれば見ていただければと思います。次回は5月7日の週に開催する予定ということになっています。ざっとですけども以上です。

加藤： みなさん河内さんへのご質問ございますか？なんか付け加えることでもあればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか？特にございませんか？

今1番動いてるのがNETmundial(+10)。今月末と、今月末までに12月のサウジアラビアへのセッションへの応募、手続きということかなと思います。特によろしいでしょうか？もしご質問あればあとで河内さんに伺うとして、今お話の出たNETmundial(+10)に関して、もし前村さんからアップデートとかいただくようなことあればいかがでしょうか？いきなり振って恐縮ですけども。

前村： 大丈夫です。資料などご覧に入れようかなと思います。これお配りするわけにはいかないんですけども、準備は進んでおりますので、どんなものがっていうのをご覧に入れたいと思います。プログラムに関してはプレリミナリープログラムが出ていますので、そちらでご覧いただければいいんですけども、その中のランシートを具体的にやっという今進めています。その中でHLEC (High-Level Executive Committee)の委員の中で分担しているのも決めつつありまして、私はワーキングセッション3のチェアというふうな感じのことをやるということになりました。チェアと言っても、マイクに立っている人達を、「次はあなた」とかって振るってということなんで、そんなに重労働ではないんじゃないのかなというふうに思っています。ドラフトアウトカムも一応きょうの8時からというタイミングと、水曜日は朝早いんですけども。

そういうタイミングでドラフティング進めていくことになっていまして、この2回でドラフティングが出来たら事前に公開して意見を頂くということだと理解をしています。もう1つは、コンサルテーションに関して分析が進んでいました。これ小さくて見にくくて、しかも拡大出来ないような気がするんですが、これ見ていただくと、例えばJPNICが出したインプットとか、KCGさんがお出しになったインプットとか、こういうのが見えるようになってまして、これらを統合してドキュメントに仕立て上げていくということになっています。ちょっと待ってくだ

さいね。リザルトプレゼンテーションですかね。インプットがいくつか分析してるものがありまして、例えばインプットでどういうふうなパーセンテージで貫っているかとか、それぞれのクエスチョンに対してリッカートっていうのは、strongly disagree, disagree, neutral, agree, strongly agree でどれにしますかみたいなことで、アナリストも貫ってきています。NETmundial(+10)のコンサルテーションで、日本から4点ぐらいインプットがあったようでもあります。これの分析がどっかにあったんですけど、ぱっと出てこないですね。というふうな感じで、準備が進んでおりますということでもあります。それで、オンラインの参加者っていうのは特定し終わっているんですが、オンラインではまだ参加できるようにしてるはずなんですけど、きょうや水曜日の会議で確認をして、もし何かお伝え出来ることがあればお伝えしようと思っております。そんなところです。

山崎： 山崎ですけども、オンラインでの参加申し込み締切は明日とアナウンスされています。UTCで明日いっぱいなんで、日本時間だとあさって25日水曜日の朝8時59分までとなっていますけども、明日中には申し込みされたほうが無難かなと思います。延長されるかは私には分かりませんが、アナウンスがあしたとなっています。

前村： ありがとうございます。何かご質問があれば承ります。

加藤： みなさんいかがですか？

前村： ありがとうございます。

加藤： ありがとうございます。先ほど KCG さまからもコメントがあったってことですが、特に KCG さまの参加の方コメントとかアップデートとかございますか？特にないでしょうか？きょうは田中先生のお名前も拝見出来ないのでお出でにならないかもしれないんですけど、NETmundial はこの程度でよろしいですか？

みなさま。さっきもお話の出た GDC のゼロドラフトについてなんかご存知でコメントがある方とか、ご存知の方とかいらっしゃいますかね？今。その後とかについて。

山崎： では山崎から、口頭での簡単な報告になってしまいますけれども、記憶にある限りで報告させていただければと思います。4月1日、今月1日にゼロドラフトが公表されまして、ゼロドラフトっていうのは草案の草案というか、1番最初の段階の草案ということなんですけども、4月5日に国連のニューヨークで各国政府の代表の方々にプレゼンテーションの会が開かれました。その模様は中継されまして録画もありますので、みなさんご覧いただくことが可能です。そのへんはまとめて、JPNIC のブログとしてあしたかあさってぐらいに出せると思いますので、それをご覧いただければと思うんですけども、そのあとの予定が、4月12日に第1回の読み合わせが、政府向けの。国連で開かれた模様です。それは中継とかされてませんので、政府の方しか参加出来ない形式になっていますが、4月24日、と言ってもそれはニューヨーク

時間ですので、日本時間ですと4月25日。今週の木曜日朝4時から5時半という非常に日本からはアクセスしづらい時間帯ですけれども、政府以外のステークホルダーも参加出来るオンライン会議が開催される予定です。ですから、もしゼロドラフトに物申したい方はこの会議に出ていただければ物申すことが出来るということになります。これが録画されるかどうかは発表されてません。これまでの経験ですと、「事前に録画したものを」って言わない限りはライブで中継して終わりということが結構ありますので、これをご覧になりたい方はかなりしんどい時間帯ではありますけれども、早起きして見ていただく必要があります。第1回となっておりますが、第2回以降があるか分かりませんので、日本政府以外の方はこちらを見ないと、下手したらこれが最後の機会になるかもしれない。政府向けには5月の連休中2日3日に、第2回第3回の読み合わせがあるということですが、そのあとどうなるかは、私は把握してませんので、もし飯田さんご存知でしたらいただきたいと思うんですけども。そのあとあるかどうか分かりませんが、最終的には9月に国連総会の中だと思えますけれども、未来サミットが国連でありまして、そこで最終版のグローバルデジタルコンパクトが発表される予定と。これは名前忘れましたが、サミットオブフューチャーで発表される未来なんたらっていうドキュメントの一部。その付属。付録として、グローバルデジタルコンパクトが文書としてくっつくという形になるとされています。私からはそんな感じですけど、もし飯田さんはじめ他のみなさん、ご存知のことがありましたら補足いただければ幸いです。

加藤： 何度か名前出てるんで、もし飯田さまご存知であればなんか付け加えていただくことございますでしょうか？

飯田： GDC のスケジュールは、まだはっきり把握できてなくて、われわれも今コメント作成中のございまして、そのあとコンサルテーションのスケジュールを確認して、可能であれば共有したいと思います。いずれにしても9月、今のお話の通り未来サミットの時の、なんとかコンパクトの付属文書になってくるということ。

なかなかギルト特使も忙しいらしくて、結構年中スケジュールが変わったり新しいものが出てきたりするので、注意して見ておこうと思ってるんですけども、今共有できるほどの細かい情報がございませんので、また何かありましたらみなさんにお知らせしたいと思います。

加藤： 他いかがでしょうか？もし山崎さんか飯田さんご意見があればですけども、このGDCのゼロドラフトを見ると、IGFとの関係で言うとかかなりGDCがいろんな部分をカバーしたいという内容に見えたんですが、そのへんの背景、今後の見通しみたいな、たぶん誰も分からないのかもしれませんが、何かコメントいただくようなことがあればいかがなんでしょうか？

山崎： 山崎ですけども、確かにゼロドラフトの中では結構IGFが言及はされていますし、マルチステークホルダーという言葉も踊ってはいるんですけども、ゼロドラフトが出てからいろんな会議があちこちで開催されてまして、全部は無理なんですけど欧米の都合の良い時間に開催さ

れるんで、日本だと夜中っていうのもありまして全部は聞けてないんですけども、結構みなさん細かいとこ突っ込みされてまして、例えばマルチステークホルダーと書いてあるけども、マルチステークホルダーコーポレーションとなっていて、デジタルコーポレーションの延長でマルチステークホルダーっていうふうになんてなっていて、マルチステークホルダーによるガバナンスじゃないから、これはまだ文句言ったほうがいいってという意見も出てたようです。ごめんなさい、加藤さんの最初の質問は？

加藤： 質問は、IGF との関係で、国連としては IGF は限定的なことをやって、むしろ今後は GDC の中で核燃とか、何か議論をしていくような方向を考えているのか、そのへん将来のことを占う鍵になるのかと思ったんですけども、そのへんをどう読み解けばよろしいでしょうかってことです。

山崎： ゼロドラフトの前に骨組みみたいなのが出てまして、その時は IGF っていう言葉は出てこなくて、デジタルコーポレーションフォーラムってものを別に創設してそっちでやるってなってたんですけども、それは文句ごうごうで引っ込められまして、ゼロドラフトの中ではその言葉は登場しません。ただし、最後のほうにフォローアップとレビューという章がありまして、そこで2年おきにハイレベルなんちゃら会合を開いて、GDC の実施状況をレビューするとなっていて、それが実質デジタルコーポレーションフォーラムの再来じゃないかと読めるような記述になってたりします。それも1つじゃなくて2つぐらい、そういうメカニズムが埋め込まれていて、どっちかが文句が多くて引っ込められてももう1つが残ってるという、なかなか巧妙な書き方になっていると私は読みました。IGF は使うということは書いてあるんで、それはマジョリティの人の意見に沿ってはいるんですけども、IGF だけで済むかどうかは今後の議論次第ということですよ。4月5日のプレゼンテーションの時は、もちろんコメントを言う人は政府とオブザーバー。オブザーバーというのは例えば EU であったり、バチカンのオブザーバーとかそういうところだったりするんですけども。もちろん日本政府も発言なさっていて、大体の傾向は、いわゆる先進国は IGF で良いから新しい仕組みはいらんというのが趨勢ですよ。

ただ途上国側、G77+中国っていう途上国の集まりは、グローバルデジタルコンパクトの中で新しい仕組みを提案するのもやぶさかじゃないよって感じなんで、新しい仕組みを作ってもそんなに反対しなさそうに見えます。そういう違いがそれぞれのサイドであるかなってところですよ。そんな感じですよ。

加藤： 大変クリアになりました。飯田さんもしフォローされていけばいかがでしょうか？今のような点。

飯田： あんまり正確なことまでお伝え出来るか分かんないんですけど、今山崎さんからお話あったようなことで、やっぱりあんまり穿って見ちゃいけないのかもしれないんですけど、国連側には何か残して新しいこと始めようっていう意図というか希望があるようで、いろんなとこ

ろに忍び込ませてあるような感じで受け止めています。さっきのデジタルコーポレーションフォーラムの話も、IGF を挿げ替えるようなものとして出てきたので、これはほとんど総スカンで、今は一旦引っ込んでるように見えてますけども、例えば「IGFではAIはやってないのでAIの新しい場が必要だ」みたいな議論が出てきて、「いやAI やってる。今1番大きなテーマになってるじゃないか」みたいな議論があったり、何かしら今の時流に乗って、新しい場を作ろうとしてみるように見えますし、それが国連的には、自分達のやる事を少しでも増やしたいということなのかもしれませんし、途上国的には先進国から何か引き出す道具としての、IGF がこれ以上そういう場で使えないのであれば、新たなものを作って先進国からの協力を引っ張り出す場にしたいという思いがあるのかもしれないし、ジオポリティカルな観点で言うと、マルチステークホルダーのガバナンスということを前面に押し出してる IGF じゃなくて、政府が主導するような場を国連に作りたいというような国もあるのかなと思って見えます。なので、AI とか IGF そのものというのが1番大きなとこなんですけれども、それ以外でもセキュリティだったり、いくつかのテーマの中でなんか新しく政府主導のものとか、国連主導のものを作ってあとに残そうという意図がどうも見えて、それが妥当なものであればいいんですけれども、われわれにはたいていの場合は屋上屋というか、今既存のものがやっているところを挿げ替えたり、不適切なものを作ろうとしているように見えるので、そういうところを反対しながら、でも全部反対すると途上国が付いてこないの、いかに仲間づくりに訴えられるようなナラティブと、場合によっては代わりになる方法を検討しながら、これを無害化すると言うと非常にネガティブですけども、むしろ IGF やその後のデジタルのグローバルなガバナンスとか開発が前向きに進むような議論に、最終的に結び付けたいということで、去年の G7 でグローバルデジタルコンパクトも含めて、IGF をちゃんと強化してやっていこうということを議論して、京都の IGF でも一緒にやりましたし、そのあとポイントオブコンタクトというのが出来てまして、G7として、WSIS+20も含めて一緒に対応していこうということでやっています。G7だと7ヶ国しかいませんので、仲間づくりをして少しでも自由でみんなが参加するデジタルのガバナンス。それの上にはインターネットだけでなくAIとか、いろんな要素もそういう方向でちゃんと議論が発展していくということを目指して対応しているという状況でございますので、まずはこの GDC が1つ大事な主戦場になって、次の WSIS+20 にいくのかなということでやっています。

もしみなさんの目でもご覧になって、このへん危ないんじゃないかとか、むしろこれは、こういう方向に持ってくと良いことになるんじゃないかというようなご意見があれば、まさにわれわれにも教えていただいて、官民マルチステークホルダーで日本として対応していけたら1番いいのかなと思いますのでよろしく願いいたします。

加藤：大変参考になりました。みなさんいかがですか？ご質問とかございませんか？他に。非常に重要な動きがご説明いただいたと思うんですが。



山崎：山崎から2点ほど質問させていただいてよろしいでしょうか？

加藤：お願いします。

山崎：飯田さまに2つお伺いしたいんですけども、例えば25日朝4時からのセッションに参加するのが難しいという、怠惰な理由でお願いしていいのか分かんないんですけど、例えば民間のこの会議に参加されてるどなたかがGDCについて何か意見を国連に差し入れたいとなった場合に、例えば飯田さまにお伝えすれば、政府間の会合で、その内容が妥当であれば提起していただけるものなのでしょうか、というのが1つです。もう1点はゼロドラフトが出てからいろんな会議で議論されてる中で、国連はそもそもお金がないんじゃないかと。ジュネーブのオフィスの節約例みたいなのが出て、暖房温度・冷房温度に制限とか、オフィスの開館時間を短縮するだとか、そういうおふれが出たそうで、またNRIの会議に出てる国連のジュネーブの担当者が、オフィスの中にいるのにコートを着てるんです。その時は聞かなかったんですけど、どうも温度制限があるんじゃないかとか、1月の会議だったと思いますけども、国連を年末年始閉める期間を通常より延長したのか、そういうことをおっしゃったような気がして、国連ってそんなにお金が今、加盟国の分担金が滞納されてるからだと思うんですけど、お金の厳しいのかっていう。っていうのは、お金の厳しいのにこういう新しい新機軸を打ち出して、実際出来るのか的な質問が、民間の人から出されていたというのがありますので。その2点をお伺い出来ればと思います。

飯田：ちょっと難しく、1点目は25日の会合でのコメントをお預かりするというのももちろんあり得るんですが、われわれ政府だからと言って特別に別途意見を出せるということは必ずしもないです。ただ、もしご主旨がコメントをいただいた時に、例えばG7のそういう場で共有をして、日本だけじゃなくみんなから今後の会合の中で言っていくということであれば十分可能ですし、「われわれのステークホルダーコミュニティからこういう意見があったんだけどどう思う？」と言って、反論される可能性がないとも限りませんが、普通に考えれば共有されてG7のネットワークの中でいろんなところで増幅して言っていくということも十分あり得ると思います。そういうことが目的で去年G7でも議論をし、IGFにも結び付けてやってきたということがありますので、是非お使いいただければと思います。2点目は正直分からないところです。IGF事務局がお金がないのはよく分かります。ファンドレイジングというのがリーダーシップパネルの重要なテーマの1つであって、ヴィント・サーフが頑張っていくというのもその通りですので、大事なことだと思いますし、われわれもなんとかしてあげたいと思いつつながら、なかなか簡単にはいかないんですけども。一方国連全体で見た時にどうなのかというのは、必ずしもよく分からなくて、ましてジュネーブとニューヨークの溝とかも見ると、ニューヨークがどんな状態で事務総長のところにどのぐらいあれが集まる余地があるのかは想像がつかない。ただ、新しいものを作ったら、それに合わせてファンドレイジングしようっていう雰囲気はどうもあるので、お金が余ってるからなんか作ろうっていう感じではなくて、ご指

摘のように無理して作ってまたお金集めに苦労すんじゃないのっていうのは、そう遠からずじゃないかなとは思いますが、そんなに根拠があることではないです。国連の職員の人達が暖房も使えないで困ってるかどうかについては、必ずしも聞いたことないんですけども、もしそういうことがあったのであれば、少なくとも IGF の人達は結構苦労してるのでそうだったのかもしれませんし、是非事務局のファンドレイジングには協力してあげたいと思ってますので、日本政府だけじゃなくて民間の方も何かチャンスがあればご協力いただければ有難く思います。とりあえず以上です。

加藤：今高松さんからご質問がチャットのほうにあります。

飯田：一般論なので、どこに間に合わせなきゃいけない意見かによるんですけども、さっきお話したように GDC の具体的なスケジュールが頭に入ってるわけではないので、何月何日までですよっていうのは、実を言うと分からない状態です。今ゼロドラフトへの意見を出して、それが戻ってくると思っていますので、その段階でどういう意見をどういうところに出していくかっていうのは考えなきゃいけないくて、その時にもしかすると、いろんなステークホルダーコミュニティで協力して、同じようなことを日本として言っていくということであれば、共有をしながらやっていくし、政府側でお預かりするタイミングもあるのかなと思いますので、それは5月以降になってくると思います。すいません、そこ今後の会合とかスケジュールの確認とともに、またお知らせしたいと思います。

加藤：他、ご質問とかございますか？もしなければ、1点前村さんに NETmundial(+10)との関係が何かありそうなのかっていう点、今 GDC でギルト使がいろいろとデジタルコーポレーションフォーラムのようなご提案をされていて、IGF との綱引きが行われているようにも見えるんですけども、NETmundial(+10)とかその他の国々がそのへんの動きをどういうふうにしようとしてるか、何かもしそういう考えがあるのかどうか、そのへんはいかがなんでしょうか？

前村：相当意識してます。NETmundial+10 においては。GDC も WSIS+20 も。コンサルテーションの時にも、NETmundial+10 から GDC に対して何か引き継ぐことはないかとか、WSIS+20 に対して何かインプットはないかというふうに質問もありましたし、もう1つは2日間の日程の中で、これからのステップを大いに意識をしたプログラム、セッションが1つあるんです。Process Coordination: GDC, WSIS+20, IGF and beyond っていうのが、2日目の朝のセッションであります。そういうことで、かなり意識してるんですけども、特定な何かこういうことをやるとかっていうのはアウトカムを作っていく上で何か出てくるのかもしれないですけども、それもはっきりはしてないという感じです。

加藤：逆に言うと、NETmundial 自身は今後継続的に何か IGF に対抗するような、相当するような会議をやるとか、そういう位置づけではないということ。

前村：それは多分に、CGI.brがどういうふうにかえるかということだと思っんです。要はわれわれは少なくとも委員としては分からないので、なんとも答えようがありません。失礼します。

加藤：あと、プラス 20 になるのかどうか、そのへんはまだ何も先のことは分からないっていう、

前村：分からないですね。IGF 京都で、前にもお話しましたが「こういう会議やるんだけどさ」と言った時には、NETmundial に関連させるかどうか分からないっていうところから始まっていますが、聞けば聞くほど「それって NETmundial+10 じゃん」っていうふうなことになったので、20 年後にブラジルがまた G20 のホスト国になるとかそういうようなトリガーがあれば、ばっちりそれが噛めば、20 年後やるのかもしれないんですけども、繋がりだと思っます。

加藤：分かりました。ありがとうございます。みなさんよろしいでしょうか？ 山崎さんのジュネーブの儉約例のことまで書いていただいて、ありがとうございます。そんなところでよろしいでしょうか？ もうご質問は、特にございませつか？ ジャあこのへんの動き、結構活発なものがあるということで、お疲れさまですが、ブラジルにいらっしやる方々お帰りにになりましたらまたいろいろとご報告を伺うのを次回お願いしたいと思っますので、よろしくお願っします。それでは、議題を順に見ていただくと、次は本チームの今後ですけれども、これは私からまた簡単にご報告、まずさせていただこうかと思っんですけどよろしいでしょうか？ 前回 4 月 18 日に準備会を行ったということをおし上げましたけれども、その次が今週後半に決定になると思っますが、また継続して検討をやっていっますということで、以前にこの活発化チームでもご披露した通り、活発化チームとしてのたたき台というのを基に、さらに詳細を詰めるための準備会合を継続してやっておりまして、この 4 月の 18 日の会合で、既に第 8 回目の会議でございしました。今週やるのが第 9 回目になります。かなり活発に細かいところの議論をさしていただいっています。会議の途中で、まず私からっていうか関係者で、実際に法人化をするにあたっての法人の定款案。さらに関連する規則案っていうのお出しして、それに対して JPNIC さんから修正案って言いませつか、別の案が出てまいりまして、その 2 つを比較しながら検討するっていうプロセスが今続いっています。ポイントとしていくつかあると思っます。前村さんから、もし補足していただくとしたらお願っしたいと思っますが、この活発化チームの活動に相当する本会議と読んでませけれども、前のたたき台を思い出ししていただくと分かりませますが、本会議を法人化した場合に、一般社団法人の場合が理事会っていうのを作らないといけな。法律上これは要請事項なんですけれども、その理事会との間で、誰がどういう権限を持っていっるんなことどう決めていっかって、このへんが 1 つのポイントだと思っます。それから JPNIC さんからの修正案で前回も議論になったのが、本会議と言ってるこの会議に関連して、この会議を運営するための運営ガイドラインっていうのを作っただ方がいいっていうので、その案を出されていっます。これどこの時点で、この活発化会議のみなさんにご覧いただいって、ご意見いただいっプロセスが必要になると思っますが、今その議論が始まっるところです。同時に JPNIC さん

からの案では、運営ガイドラインを新たに作るに加えて、この会議に関して運営委員会っていうのを 10 人ほどパーマネントだと思いますが、10 人ほどの人が命名されて、その人達がいろんなこの活発化チームの運営に関して決めていくというプロセスをご提案になっています。このへんがどういうふうにおくのが適当であるかっていうことが今議論になっていて、次回の会議でも現在活発化チームでいろいろやっていることに関して、どこをどう変えていく必要があるのかというようなことが話題になっております。その話の性質から言って、この活発化チームのみなさんにも関わることでありますので、どっかの時点で改めてみなさま方にも大きな動きをご報告し、ご意見いただく必要があるのではないかと考えています。

簡単ですけれども、今の状況はそういうことですが、前村さん何か補足とかございますか？

前村：状況を適切に要約して言っていただいたと思います。ありがとうございます。

加藤：前回もお願いしたんですけれども、この準備会合っていうのも非常に重要な会議であって常にオープンですから、是非ご参加いただければと思います。実際のところ今回の準備会合でも、この活発化チームの会合に今まで出てこられなかった方で出てこられて、いろいろとご意見を言われる方も出ておまして、そういう意味で本来この活発化チームのサブコミュニティでありますので、是非参加ご希望って言いますか、非常にこの活発化チームの会合の今後を決めていくという重要な議論に今差し掛かっていますので、時間的に毎週のようにやっておりますので大変ですけれども、是非自分も出れるだけ出てみたいという方がいらっしやいましたら、このメーリングリストに言っていただければそれで自動的に準備会合のスケジュールについてもご連絡しますので、是非手を挙げていただければと思います。ということで、もし前村さんや他に準備会合に参加されている方で、これは全体会議にもご報告してご相談したいということがあれば、この時点で手を挙げていただければと思いますが、みなさんいかがでしょうか？私からは流れだけプロセスだけ申し上げて、あまりサブスタンスのお話はしませんでしたけれども。いかがでしょうか？大丈夫でしょうかね？積極的にご発言とかご意見いただける西潟課長、もし何かございましたらで結構ですけれども、いかがでしょうか？

望月：すいません、西潟は今席を外して別の幹部説明に行っておりますので。

加藤：望月さまからは特に大丈夫ですか？

望月：大丈夫です。先ほど加藤さまおっしゃられた内容で今話し合いが進んでいるものと私も理解しておりますので。

加藤：立石さんから手を挙げていただいたんで。

立石：私も具体的にここところまでないんですが、是非とも準備会合の様子をみなさんに聞いて、あるいは出てきて、たぶんいきなり来て発言しろって無理。前後関係も結構、7回8回さっき加藤さんおっしゃったようにやっていますから、なかなかすぐに発言云々ってこ

とないとは思いますが、今後やっていく上で結構重要なポイントに今差し掛かりつつあるかなと思いますので、他の方にも是非出ていただけたらと思います。以上です。

加藤： 他の方大丈夫ですか？この本チームの今後、活発化チームの法人化の話はこれぐらいにさしていただきまして、一応きょう用意した議題は以上でございますが、何か他にご報告いただくとかございますでしょうか？ございませんか？それでは、あと決める必要があるのが次回なんですけれども、3 週間後か 4 週間後かっていうのを山崎さんから日程をいただいておりますが、いかがでしょうか？ 4 週間ごとになっていうのが、1 度そういう動きになったんですが、今回、今申し上げた通りこの活発化チームの今後について、結構集中的な議論が平行して突きつけられているので、タイミング的には、もしできれば 3 週間後また計画さしていただくということもありますが、例えば NETmundial にお出かけとか、他の会議で 5 月 13 日の月曜日は厳しいとかそういう方いらっしゃいますか？

逆に 5 月 20 日は厳しいっていうコメントでも結構ですが、いかがでしょうか？どちらがいいというご意見が。

立石： 私 5 月 13 日厳しいです。すいません。

加藤： 分かりました。他の方いかがですか？

前村： 前村ですけども、私も 5 月 20 日のほうが。13 日は別なものが被っています。

加藤： そうですか。それじゃあ、今回は 4 週間後になりますけども 5 月 20 日の月曜日、同じ 5 時からということで次回は計画さしていただくってことでよろしいでしょうか？その間もし例えば NETmundial のご報告いただくとか、準備会合でいろいろとこの活発化チームのみなさまにも知っていただく必要があることがあれば、メーリングリストでご報告するというので、次回は 5 月 20 日月曜日ということで、この活発化チーム会合を計画させていただきたいと思います。これ以外で何かきょうお話しされたいことある方いらっしゃいますか？特にございませんか？では以上ということで、みなさまきょうも活発な意見交換大変ありがとうございました。次回 5 月 20 日ということでよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

立石： ありがとうございます。

前村： ありがとうございます。

山崎： ありがとうございます。